

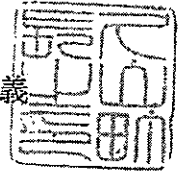


20久田都第 229 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

久山町長 鮎川 正義



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日国道企第37号を以って依頼のあった標記のことにつきまして、
別紙のとおり、本町の現況と課題および今後の施策に対する要望を取り纏めましたので
提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県久山町

道路は、地域の活性化を促すとともに国民生活を支える最も重要な社会基盤であり、誰もが利用する施設であるという視点に立って検討がなされなければならないと考えます。

その利用の仕方については様々であり、優先順位についても、それぞれの利用形態ごとに検討がなされるべきものだと考えます。

つまり、将来の土地利用とマッチしたものである必要があります。また、その検討の中には、公共交通機関との連携が不可欠であり、十分検討したうえで道路交通体系の整備が進められなければならないと考えます。

例えば、都市計画上、開発については、4 m以下の道路についてはセットバックにより道路が整備されていくことになっていますが、セットバックが必要でないケースもあります。このような基準を一律にすることによって最低4 mの道路を確保することが可能になるかもしれません。

また、道路については、ただ単に整備して行くことだけに経費を費やすのではなく、その維持管理に要する経費についても増大することが懸念されます。このことについても何らかの財政措置が講じられるようシステムを構築する必要があると考えます。環境に配慮した道路整備を行なっても維持管理が大変なことから舗装化していくことなど、本来の目的が失われてしまうことが考えられるからです。

以上のようなことを考慮されて道路行政、システムの構築をされることを要望いたします。

○現状

本町は、福岡市都心部から東に約10kmの位置にあり、都市高速道路を利用すれば僅か20分程で福岡市の中心部へ到達可能な距離にあります。

また、九州自動車道福岡インターチェンジが町域に隣接しており、九州各都市へのアクセスも至便な位置にあります。

主要な道路は、県道筑紫野古賀線が町域の西側を南北に走り、県道福岡直方線が東西に横断する形で走っています。

しかし、各集落を結ぶように配置されている都市計画道路は、整備が進んでいない箇所も多く、体系的な道路網が十分に形成されているとは言いがたい状況です

大量輸送機関の鉄道駅はありませんが、JRバス、西鉄バスの乗入等があります。

○課題

本町は、左記の現状を受けて下記のような課題を有している。

- 主要地方道筑紫野古賀線、福岡直方線の交通量が増加し、交通渋滞を引き起こしている状態であるとともに、歩行者の安全確保が最重要課題となっている。また、緊急車両の通行のため道路幅員の確保を行なう必要がある。
- 近年の健康志向の増大等に伴い、サイクリングや夜間のウォーキングなどへの対応が必要であり、バリアフリーを取り入れた自歩道の整備など快適で安全な道づくりを行なう必要がある。
- マイカー利用の増加等による環境・エネルギー問題などから、公共交通機関の充実を図る環境整備が必要である。
- 本町は、農林業を中心に発達した町であり、道路の維持管理（除草等）については、地域の住民によるものが主である。しかし、高齢化社会の進展などで今後の維持管理に関する方策を考えなければならない。

②—2 地域の目指すべき将来像

福岡県久山町

本町は、都市との交流を促進し「農業」と「都市」とが共生するまちを目指しています。その中で、道路については、環境共生に向けた道路交通網の体系的な整備を図るため、次のような基本的な考え方により推進していくこととしています。

(1) 都市活動を支え町民の誰もが移動しやすい道路交通網を確保する。

○骨格となる幹線道路網の整備

- ・「広域幹線道路」である主要地方道筑紫野古賀線、福岡直方線の整備を国、県と協力して推進する。
- ・町内の市街地や集落あるいは町外と連絡する道路を「幹線道路」として整備する。
- ・集落を結ぶ道路を「地域連絡道路」として整備する。

○市街地、集落地内のそれぞれの特性に応じた道路整備

- ・集落環境の保護や既存道路の活用、住民主体の道づくりに配慮して整備する。

(2) 誰もが安心して通行できる「人にやさしい道づくり」を目指す。

○人にやさしい道づくり

- ・段差や急傾斜などの障壁をなくし誰もが安心して利用できる道路整備をする。
- ・人が多く集まる箇所は、歩行者空間の拡充に努める。

○環境共生に配慮した道づくり

- ・道路空間の緑化など周囲の自然、田園環境との調和に配慮した道路空間形成に努める。
- ・河川沿いや農道などを活用した散策路の整備を検討する。

○サイクリングロード等の整備を検討

- ・主要な施設に自転車で安全にアクセスできるようサイクリングロード等のネットワーク化を検討する。

(3) 環境・エネルギー問題に配慮し、自動車交通需要を抑制し、公共交通手段の確保を図る。

○マイカー利用の抑制と総合的な交通施策への取り組み

- ・自家用自動車利用の抑制や公共交通機関の増設、適切な交通規制など、関係機関と協議、調整を図りつつ取り組む。

○バス交通の環境整備

- ・バスルートの新設や増便について、関係機関との協議を継続して行なう。
- ・バスルートとなる道路の整備やバイパスの新設など、走行環境の改善を進める。
- ・高齢者等が乗降しやすい環境づくりやバス停周辺の魅力づくりなど、誰もがバスを利用しやすい環境づくりに努める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県久山町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他